2019 年度 事業報告

2019 年度 事業報告

1. はじめに

2013 年 6 月にカンボジア・プノンペンで開催された第 37 回ユネスコ世界遺産委員会において、富士山が「富士山一信仰の対象と芸術の源泉」として世界文化遺産に登録されてから本年で 7 年目を迎えました。2019 年 6~7 月にアゼルバイジャン・バクーで開催された第 43 回ユネスコ世界遺産委員会では、2 回目の提出となった「保全状況報告書」が審議され、富士山の管理・保全の責務を継続して果たしていることを承認されたほか、取り組みの順調な進展を歓迎するとされるなど、高い評価を得られました。

当法人は昨年に引き続き、世界遺産富士山の保全とその普遍的価値の後世への継承のため、静岡、山梨両県との連携を強化し、富士山の幅広い PR・啓発活動を実施いたしました。本年は、「富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラム」教材のオンライン配布2年目のさらなる普及活動を推進。「富士山書き初め」は3回目を迎え、数ある書道コンテストの中で一定の認知・評価が出てきており、若年層に向けた富士山の普遍的価値の啓発活動をさらに強化することができました。また、富士登山者および富士山関連イベントの参加者へ、富士山の保全に向けた PR 活動を積極的に展開しました。

2. 主要な活動とトピックス

- (1) 1月11日(金)、東京文化財研究所(東京都台東区)で開催された第24回文化遺産国際協力コンソーシアム研究会「文化遺産とSDGs」(主催:文化遺産国際協力コンソーシアム)に参加しました。
- (2) 「富士講」追体験ツアー【世界遺産構成資産を巡る「冬の絶景と富士巡礼の道」】情報を1月11日(金)に富士山会議 facebook ページに掲出して、募集告知に協力しました。
- (3) 山梨県立富士山世界遺産センターの企画展「吉田口登山道の騮ヶ馬場と流鏑馬」の情報を、1月12日(土)に富士山会議 facebook ページに掲出して告知協力しました。
- (4) 1月21日(日)、「富士山書き初め2019」の表彰式が毎日ホールで開催されました。それに先駆け、1月17日 (木)毎日新聞夕刊で受賞作品を紹介する特集記事が掲載されました。また受賞作品が1月16日(火)~23日(水)に毎日新聞社1階スペースで展示されました。
- (5) 1月26日(土)、日本橋会館で開催された富士山をテーマとした短歌コンテスト「富士山大賞」の表彰式会場で、 富士山会議の活動紹介PRと募金活動を実施しました。
- (6) 1月26日(土)~2月3日(日)に山梨県立富士山世界遺産センターで「富士山書き初め2019」受賞作品を展示しました。
- (7) 2月6日(水)、都道府県会館で開催された、第7回富士山利用者負担専門委員会にオブザーバー出席しました。
- (8) 2月7日(金)~2月18日(月)に静岡県富士山世界遺産センターで「富士山書き初め 2019」受賞作品を展示しました。
- (9) 2月23日(木)、静岡県御殿場市の御殿場高原ホテルで開催された、静岡・山梨両県主催の「富士山の日」 フェスタ2019に青柳理事長以下出席しました。会場内に「富士山書き初め2019」受賞作品を展示しました。

- (10) 静岡県御殿場市の東山旧岸邸で2月6日(水)から25日(月)まで開催された、登山家田部井淳子さんの回顧展でPR活動を実施しました。
- (11) 2月27日(水)、当法人の2019年度定時総会・理事会を東京・港区ヴィラフォンテーヌ汐留コンファレンスセンターで開催しました。
- (12) 3月19日(火)、静岡県沼津市のプラザヴェルデで開催された、第11回富士山世界文化遺産協議会にオブザーバー出席しました。2018年11月末にユネスコに提出された保全状況報告書についての報告と包括的保全管理計画の改定および富士山保全協力金制度についての議案等が承認されました。
- (13) 4月27日(土)~5月26日(日)に開催された静岡県富士山世界遺産センターの春季特別展「徳川将軍と富士山」 の情報を富士山会議ホームページニュース欄に掲出して告知協力しました。
- (14) 5月22日(水)の山梨日日新聞に昨年11~12月に実施した「富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラム」の利用実態調査の内容を中心とした記事が掲載されました。
- (15) 5月末発行の「るるぶ FREE 富士山'19」に見開き2ページの編集タイアップ記事が掲載されました。
- (16) 6月7日(金)8日(土)に実施された静岡・山梨両県主催の富士登山予定者向けセミナーで、参加者にステッカー、ポストカード、クリアホルダーなどを配布し PR 活動を行いました。
- (17) 6月20日(木)、会員である㈱電通の富士登山の説明会場で、PR活動を実施しました。
- (18) 6月30日(日)~7月10日(水)にアゼルバイジャン・バクーで開催された第43回世界遺産委員会にオブザーバー参加しました。会場内のPR物設置スペースで、参加者へ富士山会議ポストカードを配布しました。
- (19) 環境省、静岡・山梨両県が運営する「富士山オフィシャルサイト」への「富士登山混雑予想カレンダー」掲出に合わせて、当法人のホームページへのバナー掲出およびニュース欄とフェイスブックページで情報シェアを行い、混雑を避けて安全で快適な富士登山を推進するためのPR広報を実施しました。
- (20) 啓発用ポストカードを本年も富士山の山小屋等で配布。夏山の登山者、来訪者に対しての啓発活動を展開しました。
- (21) 富士山会議ロゴ入りビニールケースを富士山の各山小屋、登山口、登山者セミナー、登山ツアー等で配布し、スローガン「いつまでも富士山を世界遺産に」の浸透をはかりました。
- (22) 7月13日(土)、20日(土)に東京・目黒区めぐろ歴史資料館で行われた目黒新富士築造200年記念イベント 「目黒の富士信仰」企画展と講演会でPR活動を実施しました。
- (23) 7月19日(金)から21日(日)にイオン津田沼店で開催された「富士山世界遺産パネル展&クイズ」でPR活動を実施しました。
- (24) 7月23日(火)~25(木)に実施された「東北の高校生の富士登山2019」への応援とPR活動を実施しました。
- (25) 7月25日(木)に実施されたデロイトトーマツグループのパートナーズミーティングで募金活動とPR活動を 行いました。
- (26) 7月26日(金)、山梨県富士吉田市で開催された「第72回富士登山競走」でPR・募金活動を実施しました。
- (27) 8月1日(水)、「富士山書き初め 2020」コンテストの作品募集を開始しました。
- (28) 公益財団法人富士山をきれいにする会主催の「富士山環境美化クリーン作戦 2019」前期(8月3日)と後期(9月13日)に参加し清掃活動および PR 活動を行いました。
- (29) 8月5日(月)~8月16日(金)の平日9日間、登山者の富士山保全協力金への協力を促進するため、株式会社大塚製薬工場様からの寄付品 OS-1 パウダー500ml用を、富士山会議ロゴ入りビニールケースとセットして、山梨県吉田口で保全協力金を支払った登山者へ配布しました。
- (30) 8月11日(日・祝)にイオンモール甲府昭和店で開催された、山の日記念「世界遺産富士山を巡ろう!」で

- PR 活動を行いました。
- (31) 10 月 4 日(金)につくば国際会議場で開催された、ユネスコ・チェア「遺産保護における自然と文化の連携」 第 4 回国際シンポジウム「自然と文化をつなぐ一文化と自然の複合遺産」にオブザーバー参加しました。
- (32) 10月12日(金)、全国都市会館(東京都千代田区)で開催された第12回富士山世界文化遺産学術委員会にオブザーバー参加しました。
- (33) 10月25日(金)、都道府県会館(東京都千代田区)で開催された第8回富士山利用者負担専門委員会にオブザーバー参加しました。
- (34) 10 月 25 日(金)に富士山会議事務局で、山梨県、静岡県、および NHK エデュケーショナル、富士山会議 運営委員が参加して、「富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラム」の全体会議を実施しました。
- (35) 10月28日(火)、「富士山書き初め2020」の作品応募を締め切りました。 応募総数は13,003作品でした。
- (36) 静岡県富士山世界遺産センター秋季企画展「富士山の曼陀羅」および冬季特別展「谷文晁×富士山」の 開催情報を富士山会議ホームページとフェイスブックページにて告知協力しました
- (37) 「ふじさんゼロゴミアクション」10月31日(木)静岡県富士宮口新5合目清掃活動および11月23日(土)山梨県本栖湖エリア清掃活動に参加し、当日の活動ホームページとフェイスブックでPRしました。
- (38) 11月16日(土)に山梨県立富士山世界遺産センターで開催された世界遺産富士山講座「芸術の源泉としての富士山-絵画に託された富士のイメージ」にオブザーバー参加しました。
- (39) 11月23日(土)、東京・竹橋の毎日ホールで、「富士山書き初め2019」 最終審査会が行われました。
- (40) 11月10日(日)「すそのガイドサイクリングツアー」および11月23日(土)「富士山すそのCYCLE EXPO2019」で PR 活動を実施しました。
- (41) 富士宮市・富士宮市教育員会主催の第17回「富士山を詠む」俳句賞を後援しました。

4ページ以降、各活動の報告の詳細です。

- 2 各種委員会の運営
- 3 オブザーバー出席した各種会議
- 4 主催および共催事業
- **5** PR/啓発活動および後援事業
- |6|| 富士山基金事業と富士山基金への寄付

2 各種委員会の運営

1) 運営委員会

日時 1月15日(火)、3月20日(水)、5月9日(木)、6月18日(火)、7月23日(火)、8月22日(木)、9月25日(木)、10月23日(水)、11月20日(水)、12月20日(金)計10回

場所 富士山世界遺産国民会議事務局

内容 活動内容の検討と活動報告

2) 評議員会

日時 2月19日(火)/第75回、4月1日(月)/第76回、6月12日(水)/第77回 8月21日(水)/第78回、10月29日(火)/第79回、12月24日(火)/第80回 計6回

場所 富士山世界遺産国民会議事務局

内容 活動内容の検討と活動報告

3 オブザーバー出席した各種会議

1) 富士山世界文化遺產協議会

第 11 回

日時 3月19日(火)

場所 プラザヴェルデ (静岡県沼津市)

2) 富士山世界文化遺産学術委員会

第 12 回

日時 10月21日(月)

場所 全国都市会館(東京・千代田区)

3) 富士山利用者負担専門委員会

第7回

日時 2月6日(水)

場所 都道府県会館(東京・千代田区)

第8回

日時 10月25日(金)

場所 都道府県会館(東京・千代田区)

4 主催および共催事業

●富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラムについて

■2018 年 1 月に開始した Web 配布教材の普及活動の課題把握のために、2018 年 11 月~12 月で山梨・静岡両県の小学校を対象に教材認知と利用実態調査を実施しました。調査からは、教材キット利用後の反応・効果として、地元にある富士山への再認識はもとより、葛飾北斎を始めとする浮世絵や江戸文化への興味関心や理解の深まりなど、富士山をめぐる様々な文化とその歴史に興味関心の高まりにつながっていることがうかがえました。また、教材の効果を引き出す視覚的な構成など、分かりやすさを評価する声もあり、教科書だけでは分からない、富士山と江戸の人々の文化について生徒の理解が深まり、学習意欲の向上につながったという意見も多数見られました。

『毎日当たり前に見ている「富士山」が、江戸時代の人たちにとってどれほど憧れであったかを知ることができた。それにより、「富士山」に対する愛着をより強く持つことができた』『地元にある富士山についての歴史について新しく知ることができてよかったという感想を持つ子が多かった』『富士山の絵を見ることによって、今と比べたり、富士山に親近感をより持ったりすることができた』などの声があり、教材が未来ある子どもたちに富士山を大切に思う心を育む役割を果たしつつあることが読み取れました。調査結果を踏まえ、今後も山梨県・静岡県の世界遺産課および教育委員会の協力を得て、各小学校への普及活動を継続していきます。



2019 年版チラシ

■5月22日(水)山梨日日新聞に、昨年11~12月に実施した利用実態調査の内容を中心とした記事が掲載されました。



■富士吉田市・吉田中学校の全校富士登山を前にした7月5日(金)に実施された講演会で「富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラム」の教材が利用されました。富士山の歴史や吉田口登山道周辺に残る信仰の対象などを学ぼうと企画され、当日は、全校生徒470人にマウントフジトレイルクラブの太田安彦代表理事が教材を活用して、富士山が世界遺産に登録された背景などを解説しました。



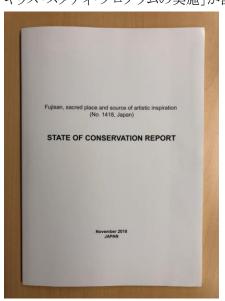


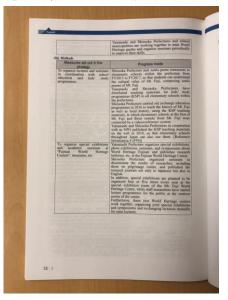


■11月~12月に実施した教材利用状況のアンケート調査の結果を活用して、普及促進に向けて、教材利用の参考となるよう、ホームページに先生からの反響を紹介するコーナーを作成しました。すでにご利用いただいた学校のうち 454 校の先生方から、生徒さんたちの反応や学習効果、教材へのご要望など、様々なご意見をいただきました。



■第43回世界遺産委員会で承認された「保全状況報告書」には、「V 情報提供戦略」のひとつとして、「富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラムの実施」が記載され、プログラムの概要と取り組み内容が報告されています。







■10月25日(金)10時30分~に全体会議を実施しました。

出席者:山梨県世界遺産富士山課、静岡県富士山世界遺産課、NHK エデュケーショナル、富士山会議議題:教材 Web 配布利用状況の報告と課題、普及施策の検討ほか。

教材 Web 配布サイトへのアクセスは、静岡県と山梨県のほか、東京都・神奈川県・大阪府が多く、それらの県での新規 ユーザーの獲得につながる PR を検討します。9月30日時点での登録ユーザー数は166。中学校の先生のユーザーが 複数見られることから、中学校を対象に利用実態調査を実施して、今後の普及施策の参考とします。

●「富士山書き初め 2019」について

- ■1月20日(日)、毎日ホール(東京都千代田区)にて、「富士山書き初め2019」の表彰式が行われました。今回は高校生の部を加え、小学生低学年・高学年、中学生、高校生の4区分、8課題で13,264点の応募がありました。表彰式、作品の巡回展示、受賞作品発表等、以下の活動を展開しました。
 - ① 1月16日(火)、毎日新聞全国朝刊で「富士山書き初め2019」受賞者決定のニュース(社告)が掲載。



② 1 月16日(火)~23日(水)、毎日新聞社1階東側フリースペースで、巡回展示第1弾を実施。



③ 1月17日(木)、毎日新聞夕刊で、1ページ(全15段)の特集記事が掲載。受賞作品や「富士山書き初め」の意義、審査員の言葉などの内容。記事下には、富士山会議の活動を知ってもらう内容のクイズ形式広告を掲載。富士山会議WEBサイトへ誘導する仕組みで展開しました。



④ 1月20日(日)、毎日ホールで表彰式を開催。青柳理事長と毎日新聞社広田取締役の主催者挨拶、審査委員からの総評、受賞作品表彰式、各部門最優秀賞受賞者のスピーチ、記念写真撮影が行われました。「昨年に続き今年も挑戦し、富士山を何度も見たり思い浮かべたりして、一生懸命作品に仕上げた」「高校のクラブ活動でみんなで挑戦した」など、受賞者からの感想がありました。







青柳理事長

挨拶

静岡県文化・観光部渡邉部長から 静岡県知事賞を授賞

山梨県県民生活部立川部長から 山梨県知事賞を授賞



表彰式:受賞者のみなさんとの記念写真

⑤ 1月21日(月)山梨日日新聞、1月27日(日)静岡新聞、で、表彰式・両県出身受賞者紹介およびインタビューの記事掲載協力を頂きました。



山梨日日新聞 1月21日(月)掲載



静岡新聞 1月27日(日)掲載

⑥ 巡回展示第2弾

・1月26日(土)~2月3日(日) 山梨県立富士山世界遺産センター南館1階受付横(山梨県富士河口湖町)



・2月7日(金)~2月18日(月) 静岡県富士山世界遺産センター 1階アトリウム(静岡県富士宮市)



・2月23日(土)「富士山の日」フェスタ2019(主催:静岡県・山梨県) 御殿場高原ホテル



⑦ 1月30日(水)毎日新聞山梨県版、2月10日(日)毎日新聞静岡県版に、両県富士山世界遺産センターでの 巡回展示の記事が掲載されました。



毎日新聞山梨県版 1月30日(水)掲載



毎日新聞静岡県版 2月10日(日)掲載

⑧ 富士山会議フェイスブックでも、「富士山書き初め 2019」と両県富士山世界遺産センターでの巡回展示情報をシェアしました。



⑨「富士山書き初め 2019」受賞作品集 (B5/24 ページ)を製作し、「富士山の日」フェスタ 2019 (御殿場高原ホテル) にて 400 部を配布したほか、富士山の文化的価値啓蒙の機会に配布しました。また、富士山会議ホームページから印刷して頂くことも出来ます。



●「富士山書き初め 2020」について





第3回目となる「富士山書き初め2020」を主催し、全国の小学生、中学生、高校生から13,003点の応募がありました。 2019年度の実施内容と活動概要は以下の通りです。今回もbeyond2020プログラム認定を取得しています。

<実施内容>

主催:認定NPO法人富士山世界遺産国民会議、毎日新聞社

後援:山梨県、静岡県

協力:公益財団法人独立書人団

主旨:日本の伝統行事である書き初めを通して、世界文化遺産である富士山の文化や環境を守る心を育むため

応募期間:2019年8月1日(木)~10月28日(月)必着

応募区分•課題:

- ① 小学生低学年の部(1~3年)「ふじ」「雲上」
- ② 小学生高学年の部(4~6年)「富士山」「ご来光」
- ③ 中学生の部「令和富士」「世界遺産」
- ④ 高校生の部「霊峰富士」「初冠雪」

賞 : 最優秀賞 各区分ごとに1名/賞状と副賞

山梨県知事賞 各区分ごとに1名/賞状と副賞

静岡県知事賞 各区分ごとに1名/賞状と副賞

毎日新聞社特別賞 各区分ごとに1名/賞状と副賞

富士山世界遺産国民会議賞 各課題ごとに1名/賞状と副賞

審查員:仲川恭司(委員長) (一財)毎日書道会理事・(公財)独立書人団理事長

長野秀章 東京学芸大学名誉教授·元文部科学省教科調查官

※他に毎日新聞社より委嘱する先生方

(1)8月1日の「富士山書き初め 2020」募集開始に先駆け、6月8日(土)に毎日新聞社告(全国版朝刊)が掲載となりました。



(2)「富士山書き初め 2020」の認知拡大策として、山梨県・静岡県両県のご協力により、夏休み前の早い時期から教育・ 学校関係者、世界遺産センター、文化施設など幅広く募集告知活動を展開しました。また、両県世界遺産課および富士山世界遺産センターのホームページで富士山書き初めのバナーを掲出しました。



チラシA4/ポスターA2

*バナー掲示







両県世界遺産センター

(3)7月10日発行「こども新聞 -2019なつ-」(毎日新聞社発行)に募集告知記事を掲載。夏休みの課題検討の時期に小学校へ配布し、先生から生徒へ手渡ししてもらうことで、応募促進をはかりました。



(4)7月23日(火)、29日(木)、9月8日(日)、11日(水)、30日(月)、10月1日(火)、6日(日)、9日(水)、19(土)、22(火)他、毎日新聞朝刊一面カラー特殊枠、半5段スペースなどで募集告知を掲載。



毎日新聞朝刊一面カラー告知



(5) 富士山会議ホームページやFACEBOOKでも募集の追加告知を行いました。



富士山会議FACEBOOK

(6) 最終審査会が11月23日(土)に東京・竹橋の毎日ホールで行われました。8月1日~10月28日の募集期間で、全国からの応募総数は13,003人でした(昨年実績13,264人)。3回目となる今回は個人応募数が増加しており、「富士山書き初め」の認知の高まりを感じさせてくれます。また、課題「令和富士」は、中学生の部の今回だけの課題ですが、2,478件と多くの応募がありました。

審査委員長の仲川恭司先生(毎日書道会理事・独立書人団理事長)、審査委員の長野秀章先生(東京学芸大学名誉教授・前文部科学省教科調査官)からは、「富士山書き初めは、数ある書道コンテストの中で一定の認知・評価が出てきている。今年も見ごたえのある作品が多かった。高校生の半切作品は、特に芸術性も高いが、書道部などの特定層が対象となってしまうので、今後は高校生への広がりのための工夫も必要。来年はオリンピック・パラリンピックイヤーでもあり、国際的にも注目される日本の伝統文化書道を通じて、さらに日本の宝・富士山を大切に思う気持ちを育む活動にしていきたい。」とのお言葉をいただきました。





最終審査会風景@毎日新聞社 毎日ホール

表彰式は、2020年1月26日(日)に毎日ホールで受賞者24名とご家族を招いて行われました。受賞結果は1月10日の毎日新聞社告(全国)で発表され、1月18日毎日新聞夕刊(東京本社版)で受賞作品の紹介記事が掲載されました。 受賞作品展示は、1月22日(水)~29日(水)毎日新聞社1階ロビー、2月4日(火)~10日(月)静岡県富士山世界遺産センター、2月14日(金)~20日(木)山梨県立富士山世界遺産センター、2月23日(日)「富士山の日」フェスタ2020会場(富士五湖文化センター)、2月26日(水)富士山会議総会・理事会にて行われます。「富士山書き初め2020」作品集を作成して、富士山の文化的価値啓蒙の機会などで配布予定です。

5 PR/啓発活動および後援事業

1) 富士山インタビューVol.62~Vol.76 をリリース

「富士山インタビュー」Vol.62~Vol.76を新たにリリース、啓発の幅の拡大を図りました。

- Vol.62 有坂蓉子 美術家・富士塚研究家
- Vol.63 小川壮太 プロトレイルランナー、甲州アルプスオートルートチャレンジ実行委員会実行委員長
- Vol.64 飯田龍冶 アマチュアカメラマン
- Vol.65 篠原武 ふじさんミュージアム学芸員
- Vol.66 吉田直嗣 陶芸家
- Vol.67 春山慶彦 株式会社ヤマップ代表
- Vol.68 中野光将 清瀬市郷土博物館学芸員
- Vol.69 久保田賢次 山岳科学研究者
- Vol.70 鈴木千紘:看護師「東北の高校生の富士登山」2014年参加、 佐藤優之介:大学生「東北の高校生の富士登山」2015年・2016年参加
- Vol.71 松岡秀夫・美喜子夫妻「田んぼのなかのドミノハウス」住人
- Vol.72 三浦亜希 富士河口湖観光総合案内所勤務
- Vol.73 石澤弘範 海抜一万尺 東洋館スタッフ
- Vol.74 大庭康嗣 富士山裾野自転車倶楽部部長
- Vol.75 杉本悠樹 富士河口湖町教育委員会生涯学習課文化財係 主查·学芸員
- Vol.76 松井由美子 英語通訳案内士·国内旅程管理主任者



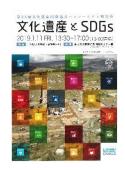
「東北の南村生の第十個山」は、2012年夏、福園園出身の輸出家・田部井浄子さんの呼びかけて始まったプロジェクト。 前年の東日本大福炎の影響を受けた、東北の未来を担う面を生たちに、富士輸出の経験を造して何かを感じてはしい。 それ者をれぞれの人生や社会にいかしてほしいという思いが出発点だったようです。 その数が1000人になれば、東北海県の大きなかになるのではないかとも、生前面っていらっしゃいました。 2017年以降、浄子とんの摂高はご子祭の遺物さんに受け継がれ、参加者は昨年も月で配べ575人に達しました。 8回目となる今年は、100人を経える東北の商校生が高士山道を目指します。 OGの終本千載さんとOBの佐藤側之介さんに、それがどんな経験だったかをうかがいました。

写真: 网络5/Tom · 文: 木材山南江

2) PR/啓発活動他

●文化遺産国際協力コンソーシアム研究会「文化遺産と SDGs」にオブザーバー参加

1月11日(金)13:30~17:00 に東京文化財研究所(東京都台東区)で、第24回文化遺産国際協力コンソーシアム研究会「文化遺産とSDGs」(主催:文化遺産国際協力コンソーシアム)が開催されました。「SDGs時代における『文化』と『遺産』と『国際協力』」、「SDGsと観光開発協力」、「文化遺産の持続的活用一南米アンデスの事例から」というテーマで講演があり、その後登壇者により「文化遺産国際協力におけるSDGsとは何か」がディスカッションされました。



●「富士講」追体験ツアーの募集告知に協力

富士山世界文化遺産保存活用推進協議会が推薦する【世界遺産構成資産を巡る「冬の絶景と富士巡礼の道」】ツアー募集の紹介を、1月11日(金)に富士山会議 facebook ページにて告知しました。





●山梨県立富士山世界遺産センターの企画展の告知に協力

1月1日~2月25日に開催された山梨県立富士山世界遺産センターの企画展「吉田口登山道の騮ヶ馬場と流鏑馬」の情報を、1月12日(土)に富士山会議 facebook ページにて告知しました。



●「富士山大賞」後援とPR・募金活動実施

富士山をテーマにした短歌コンテスト「富士山大賞」(主催:富士山大賞実行委員会、共催:NPO法人「富士山環境文化情報センター」、NPO法人「富士山クラブ」、世界連邦文化教育推進会議、全国富士講睦会、徳大寺文庫)を後援。1月26日(土)、日本橋劇場(東京・中央区)で開催された表彰式会場で、富士山会議活動紹介・募金コーナー設置・「富士山書き初め2019」展示、富嶽三十六プロダクツのgoodbymarketチャリティ富士山グッズ販売コーナーなどを展開しました。







●「富士山の日」フェスタ 2019 について

2月23日(土)「富士山の日」記念行事として、御殿場高原ホテル(静岡県御殿場市)で、「富士山の日」フェスタ2019が開催されました。静岡県川勝平太知事、山梨県長崎幸太郎知事(ビデオメッセージ)他の主催者挨拶のあと、富士山世界遺産国民会議の青柳正規理事長が来賓祝辞を述べ、中曽根康弘名誉会長の祝電が披露されました。両県世界遺産センターによる研究成果発表や中西進氏による「富士山と日本人」記念講演は、いずれも興味深い内容で、会場の約300人も熱心に耳を傾けていました。また、「富士山書き初め2019」受賞作品を会場内に展示しました。



●定時総会および理事会について

2月27日(水)、ヴィラフォンテーヌ汐留コンファレンスセンター(東京・港区)にて富士山会議の定時総会、理事会が開催されました。

定時総会:11:30~ 2018 年度の事業報告と活動計算書、2019 年度の事業計画と活動計画が承認され、今年は役員 改選期にあたるため、理事および監事の選任が承認されました。

理事会 :13:00~ 2018 年度の事業報告と活動計算書、2019 年度の事業計画と活動計画、評議員および顧問の 選任が承認されました。また、理事の互選により、青柳正規(元文化庁長官)理事長が再任された ほか、副理事長4名が選出されました。

●第11回富士山世界文化遺産協議会について

3月19日(火)、静岡県沼津市のプラザヴェルデコンベンションンホールで、第11回富士山世界文化遺産協議会が開催され、オブザーバー参加しました。静岡県川勝知事、山梨県長崎知事、文化庁豊城文化財監査官、両県の富士山周辺市町村長・教育長らが出席し、2018年11月末にユネスコに提出された保全状況報告書についての報告と包括的保全管理計画の改定および富士山保全協力金制度についての議案等が承認されました。

●東山旧岸邸での田部井淳子回顧展およびトークイベントでのPR活動

毎年2月23日の「富士山の日」に合わせた企画を行っている東山旧岸邸(御殿場市)で、今年は2月6日(水)~25日(月)に富士山とゆかりのある田部井淳子さんの回顧展、および2月19日(火)にご子息・田部井進也さんのトークイベントが行われました。田部井淳子さんは1975年に女性として初めて世界最高峰エベレストに登頂した世界的な登山家。晩年は、「東北の高校生の富士登山登ろう!日本一の富士山へ」へ勢力を注ぎ、亡くなる直前まで、病を患いながらも登山を続けていました。2016年10月20日に田部井さんが逝去されてからは、長男の田部井進也さんがその遺志を引き継ぎ、「東北の高校生の富士登山」プロジェクトの代表を務めています。富士山会議は、トークイベント参加者へのミニパンフ、ステッカー、ポストカード、ロゴ入りビニールケース配布と回顧展でPR展示を行いました。









●静岡県富士山世界遺産センター企画展の告知協力

4月27日(土)~5月26日(日)に開催された静岡県富士山世界遺産センターの春季特別展「徳川将軍と富士山」の情報を、富士山会議ホームページニュース欄にて告知しました。



●電通富士登山説明会にて PR 活動

6月20日(木)、第92回電通富士登山(7月17~19日実施)の登山者説明会で、登山予定者、登山委員計約700名に富士山会議ロゴ入りビニールケース、ステッカー、クリアファイルを配布し、富士山会議の活動についての説明も行いました。



●「るるぶ FREE 富士山'19」 編集タイアップ掲載

2019年5月末発行(部数 100,000 部)の「るるぶ FREE 富士山'19」で見開き2ページの編集タイアップ記事が掲載されました。世界文化遺産富士山の文化的価値、両県富士山世界遺産センター、富士山周辺の構成資産、富嶽三十六プロジェクト等の情報PRで構成。誌面をチラシとしてPRに活用しました。山梨県富士五湖・富士吉田エリア、静岡県富士・富士宮エリア、裾野・御殿場エリアの宿泊施設、道の駅、観光案内所、大型レジャー施設などで配布されました。



●富士登山予定者参加イベントでのPR活動

6月7日(金)8日(土)、夏山シーズンを前に実施された山梨県・静岡県両県主催の富士登山予定者向けセミナーで、 富士山会議のステッカー、ポストカード、クリアホルダーなどを配布し PR 活動を行いました。

① 静岡県富士山ガイダンス 2019 in 東京 (開催場所:全国町村会館)





② 一度は登りたい!日本一の山「富士山」へGO! (開催場所:好日山荘 銀座店)





混雑を避けて、安全・快適な富士山へ

●「富士登山混雑予想カレンダー」の告知・広報

環境省、静岡・山梨両県が運営する「富士山オフィシャルサイト」への「富士登山混雑予想カレンダー」掲出に合わせて、当法人のホームページへのバナー掲出およびニュース欄とフェイスブックページで情報シェアを行い、混雑を避けて安全で快適な富士登山を推進するためのPR広報を実施しました。



∢ Q いつまでも富士山を世界… …

●第43回世界遺産委員会について

6月30日(日)~7月10日(水)にアゼルバイジャンの首都バクーのバクー・コングレス・センターで第43回世界遺産委員会が開催されました。世界遺産委員会は7月4日、登山道の混雑回避などの取り組みについて「管理は十分に機能している」と評価し、昨年11月26日にユネスコに提出された2回目の「富士山保全状況報告書」を承認しました。世界遺産委員会は、望ましい富士登山の実現に向けた地元の調査研究活動を歓迎し、山梨、静岡両県が富士山の自然や歴史、文化、周辺観光などの情報を来訪者らに提供するため、それぞれ開設した富士山世界遺産センターについては「教育活動の促進など広範囲な役割を果たす」と評価しました。次回報告書を2020年12月1日までに提出するよう求められました。また、当委員会では7月6日に大阪府の「百舌鳥・古市古墳群」の世界文化遺産登録が決定しました。





会場内に設けられた各国・各組織の PR ツール配布テーブルには富士山会議ポストカードを設置して、世界中から集まった委員会参加者に持ち帰っていただきました。



ユネスコ世界遺産委員会ホームページ http://whc.unesco.org/archive/2019/whc19-43com-7B-en.pdf WHC/19/43.COM/7B, p. 140 に資料が公表されています。

66. Fujisan, sacred place and source of artistic inspiration (Japan) (C 1418)

●富士登山者およびイベント参加者へ PR ツールを配布

①会員社である株式会社ヤマップ様にご協力をいただき、富士登山者向けの富士山会議ロゴマーク入りビニールケースを製作。山梨県富士山吉田口5合目~8.5合目のレストハウス3軒、山小屋16軒で13,600枚を配布しました。



② ポストカード 2019 年版を、山梨県富士山吉田口 5 合目~8.5 合目のレストハウス 3 軒、山小屋 16 軒で 20,400 セットを配布しました。制作あたり、富士山吉田口旅館組合組合長中村修様に写真提供のご協力をいただきました。



③ 株式会社大塚製薬工場様から OS-1 パウダー180 万円分の商品ご寄付をいただき、富士山会議ビニールケースとセットして、富士山周辺を中心に登山者・イベント参加者等に配布しました。



<配布概要>

- ・山梨県 8月5日(月)~16日(金) 山梨県富士山保全協力金への協力者 5000袋
- ·静岡県 7月~8月

富士宮市役所 富士山世界遺産課 「世界遺産めぐり」、「世界遺産周辺ウォーク」 200 袋 富士宮市役所観光課 「富士山一斉清掃」 600 袋 御殿場口新 5 合目マウントフジトレイルステーション/御殿場駅前おもてなしステーション 1000 袋 富士宮口 「サンシャインツアー」等参加者 1500 袋

- ・「東北の高校生の富士登山」 参加者高校生とスタッフ 7月23日(火)~25日(木)165袋
- ・日本山岳会群馬支部「健康登山塾」榛名山 参加者・スタッフ 7月13日(土) 50袋 ほか

●目黒新富士築造 200 年記念イベント「目黒の富士山信仰」企画展・講演会で PR 活動

7月13日(土)、20日(土)目黒区めぐろ歴史資料館では、目黒新富士築造200年記念イベントとして、「目黒新富士をめぐる新研究」の講演会が行われ、各回ともに熱心な参加者が集まりました。世界文化遺産富士山の文化的価値を知っていただく機会として、富士山会議の啓蒙用PRツールなどを配布し、PR活動を行いました。







歌川広重 江戸百景「目黒新富士」

●「富士山世界遺産パネル展&クイズ」イオン津田沼店で PR 活動

7月19日(金)~7月21日(日)、イオン津田沼店1階で、「富士山世界遺産パネル展&クイズ」(同時開催:やまなしフェア)が開催されました。 3日間で900名もの来場者がつめかけ、熱心にパネルを見ながら、「富士山世界遺産クイズ」に参加。富士山への関心の高さがうかがえ、世界文化遺産としての富士山について、多くの質問も寄せられていました。富士山会議もホームページニュース欄、フェイスブックなどでの告知を行った他、会場に下記のようなPR啓蒙グッズ(各200~500部)を提供し、PR活動を行いました。









●「東北の高校生の富士登山 2019」の応援とPR 活動

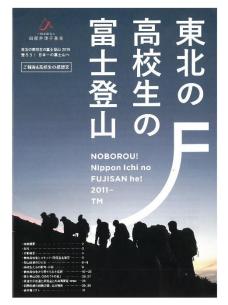
2016 年に他界された登山家の田部井淳子さんが発起人で今年で8回目となる「東北の高校生の富士登山」が7月23日~7月25日に実施され、福島、宮城、岩手県から参加した高校生104人全員が7月24日に富士山頂に立ちました。富士山会議は、株式会社大塚製薬工場様からご寄付いただいた OS-1 パウダーと富士山会議ロゴ入りビニールケースのセットおよびポストカードを参加者に提供し、富士登山を応援するとともに高校生たちへ「いつまでも富士山を世界遺産に」のPRをはかりました。







「東北の高校生の富士登山 2019」の報告書には、過去の富士登山に参加したOBとOGが出演した富士山インタビューが転載されました。報告書は「東北の高校生の富士登山 2019」富士登山への寄付者や協賛社に対して約 1000 部が配布されました。





●デロイト トーマツグループのファンドレイジング(寄付)について

7月25日(木)、デロイトトーマツグループのパートナーズミーティング(アジアパシフィック地域幹部)が、グランドプリンスホテル新高輪・国際パミール館で開かれ、会場で富士山基金へのファンドレイジングが行われました。デロイトトーマツグループのパートナー有志が会期中、富士登山することをきっかけとし、具体的には同社が継続的に行っている教育・啓

蒙助成活動「WorldClass イニシアティブ」が、「富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラム」を認定し、富士山基金への寄付が実現しました。デロイトグローバル CEOPunit Renjen さん他 900 人以上の幹部が集まる会場は熱気に満ち、当初の目標 100 万円を超える寄付金額(1,215,000 円)を達成しました。結果報告は、グループの WEB、FACEBOOK他でも紹介されました。なお、富士山会議事務局はデロイトトーマツ CSR チームと、以下の写真のように「デロイトトーマツ×富士山会議」のコラボレーション・ディスプレイの企画制作や富士山会議の活動紹介、PR ツール配布などの PR 活動を行いました。







写真①デロイトトーマツ×富士山会議のしおり ②富士山プロジェクト広報ブース ③デロイトトーマツグループ CEO 永田高士さん、デロイトアジアパシフィック CEO Cindy Hook さん

●第72回富士登山競走会場でPR活動

7月26日(金)に開催された第72回富士登山競走で富士山会議はPR活動を行いました。レースは山頂までと5合目までの2コースがありますが、早朝に降った雨の影響で山頂コースも5合目までに変更。富士吉田市役所~吉田口登山道~5合目に至る約15キロのコースを、国内外から参加した3576名の選手が駆け上がりました。レース後に選手が集まる富士吉田市民会館の表彰式・閉会式会場の山梨日日新聞社ブースで、富士山会議ロゴ入りビニールケースとポストカードの配布、募金活動などを実施しました。









●「富士山環境美化前期・後期クリーン作戦 2019」への参加および PR 活動

公益財団法人富士山をきれいにする会(野口英一理事長)主催の「富士山環境美化クリーン作戦 2019」の前期(8月3日)と後期(9月13日)に富士山会議事務局も参加して、5合目周辺から6合目の区域で登山道および登山道周辺のゴミを拾いました。前期は富士山5,6合目と鳴沢村内の清掃活動に約1500人が参加。夏山シーズンが終了した後期は5合目周辺で約280人が参加。参加者に富士山会議ロゴ入りビールケースを配布し「いつまでも富士山を世界遺産に」スローガン浸透をはかりました。









●富士山保全協力金への協力促進策

富士山保全協力金への協力促進のため、株式会社大塚製薬工場様から寄付品としていただいた OS-1 パウダー500ml 用を富士山会議ロゴ入りビニールケースとセットして、山梨県富士山保全協力金へご協力いただいた方に計 5000 袋配布しました。

<配布概要>

期間:2019年8月5日(月)~8月16日(金) ※土日祝除く

時間:6 合目受付 午前 5 時~ 5 合目受付 午前 7 時 30 分~

場所:①山梨県富士山保全協力金6合目受付(富士山6合目安全指導センター横)

②山梨県富士山保全協力金5合目受付(富士山5合目総合管理センター内)

配布対象者:期間中に山梨県富士山保全協力金に協力していただいた方(先着順)







●山の日記念「世界遺産富士山を巡ろう!」イオンモール甲府昭和で PR 活動

8月11日(日・祝) イオンモール甲府昭和で、山の日記念「世界遺産富士山を巡ろう!」が開催されました。 世界遺産 クイズには127名、富士山缶バッジ体験には 約100名が参加。世界文化遺産としての富士山について、ファミリーで熱心にパネルを見られる姿が多く見られました。富士山会議もホームページニュース欄、フェイスブックなどでの告知を行った他、会場にPR 啓蒙ツールを提供し、PR 活動を行いました。







●第12回富士山世界文化遺産学術委員会に参加

10月21日(月)に全国都市会館(東京都千代田区)で開催された第12回富士山世界文化遺産学術委員会にオブザーバー参加しました。委員会では、今夏の富士山の状況、利用者負担制度、富士山登山鉄道構想の検討についてが報告され、議事として、第43回世界遺産委員会決議への対応、来訪者管理戦略における指標・水準の見直しの方向性、経過観察指標に係る年次報告、包括的保存管理計画の改定、遺産影響評価手法の導入の検討についてが審議されました。

●第8回富士山利用者負担専門委員会に参加

10月25日(金)に都道府県会館(東京都千代田区)で開催された第8回富士山利用者負担専門委員会にオブザーバー参加しました。初めに富士山保全協力金の今夏の実施状況が報告され、受付体制、協力金の受け入れ状況、利用率向上に向けた取り組み、協力金の充当事業などについてが説明されました。山梨県は協力人数10万804人、金額1億36万1571円、協力率67.2%、静岡県は協力人数5万7740人、金額5751万3512円、協力率67.4%でした。その後、「富士山の利用者負担のあり方」についての検討が行われました。「富士山の価値を維持継承していくためには、利用者の金銭的負担が必要だとの意見があり、登山者アンケート結果でも利用者の約8割が負担に賛成」という背景を踏まえ、「富士山の普遍的価値を後世に継承する意識醸成」という理念のもと、受益者負担を明確にしていく方向性が議論されました。

●国際シンポジウム「自然と文化をつなぐ一文化と自然の複合遺産」に参加

10月4日(金)につくば国際会議場で、ユネスコ・チェア「遺産保護における自然と文化の連携」第4回国際シンポジウム「自然と文化をつなぐ一文化と自然の複合遺産」が開催され、オブザーバー参加しました。

当シンポジウムは、筑波大学大学院世界遺産専攻および自然保護寄附講座が、ユネスコ・チェアの認可を受けて、IUCN(国際自然保護連合)、ICCROM(文化財保存修復研究国際センター)、ICOMOS(国際記念物遺跡会議)の協力のもとに、遺産保護における自然と文化の連携を促進するために実施しているプログラムのひとつです。

ユネスコ世界遺産センターのメルティルド・ロスラー センター長の基調講演をはじめ、自然と文化を連携する分野で活躍する国際機関専門家の講演やパネルディカッションが実施されました。

●静岡県富士山世界遺産センター 秋季企画展 「富士山の曼荼羅」の開催告知協力

10月12日(土)~11月24日(日)に静岡県富士山世界遺産センターで開催された秋季企画展「富士山の曼荼羅」について、富士山会議ホームページおよびFACEBOOKにて開催告知協力をしました。富士山本宮浅間大社蔵「富士曼荼羅」(国指定重要文化財)をはじめとした、富士参詣曼陀羅の代表作4点の高解像度複製(原寸)を一堂に集めた企画展で、山梨県立世界遺産センターで所蔵する、現代日本画を代表する山口晃氏の「富士北麓参詣曼陀羅」の原画も特別出品され、駿河国、甲斐国のそれぞれから描かれた富士参詣曼陀羅の初共演となりました。



特別出品山口晃「富士北麓参詣曼茶羅」(山梨県立富士山世界遺産センター意)

●「ふじさんゼロゴミアクション」について

「ふじさんゼロゴミアクション」10月31日(木)静岡県富士宮口新5合目清掃活動および11月23日(土)山梨県本栖湖エリア清掃活動に参加し、当日の活動ホームページとフェイスブックでPRしました。「ふじさんゼロゴミアクション」は、富士山のゴミ問題を解決するために、富士山ガイドや地元アウトドア関係者を中心に発足した組織で、富士山麓から山頂までの調査活動や清掃活動、啓発活動を行っています。

①10月31日(木)静岡県富士宮口新5合目清掃活動







②11月23日(土)山梨県本栖湖エリア(国道139号線沿い)











11月27日 山梨日日新聞

●世界遺産富士山講座 「芸術の源泉としての富士山」に参加

11月16日(土)に山梨県立富士山世界遺産センターで開催された世界遺産富士山講座「芸術の源泉としての富士山-絵画に託された富士のイメージ」にオブザーバー参加しました。山梨県立美術館学芸幹の井澤英理子先生による講座 には、約40名の世界遺産富士山ガイドや富士山文化に高い関心を持たれている方が参加しました。富士山絵画につ いて、古代・中世・近世・近代に渡り、様々な切り口での解説。「かねてより外国人が最初に触れる日本のイメージは富士 山絵画」という側面もあり、2020年のオリンピック・パラリンピックイヤーには、山梨県立美術館で「富士山絵画展(仮称)」 を企画中とのことです。



井澤英理子学芸幹(山梨県立美術館)



伝雪舟「富士清見寺図」多くの絵師が模本を描いた最も有名な古図。



不染鉄「山海図絵(伊豆の追憶)」



1860年御縁年、初の外国人富士登山者オールコック イギリス初代駐日公使「大君の都」

●「すそのガイドサイイクリングツアー」で PR 活動

11月10日(日)に静岡県裾野市で開催された「すそのガイドサイクリングツアー」(主催:裾野市スポーツツーリズム推進協議会)で参加者に、富士山会議クリアファイル、ロゴ入りビニールケースとOS-1 パウダーセット、ステッカー、ポストカードを提供し、PR活動を行いました。参加者は裾野市の清流と史跡とオリンピックコースのそれぞれ 3 つのコースに分かれてサイクリングを楽しみました。





●「富士山すその CYCLE EXPO2019」で PR 活動

11月23日(土)に静岡県裾野市で「富士山すその CYCLE EXPO2019」(主催:富士山裾野自転車倶楽部)が開催され、開会式で富士山会議の活動が PR されました。参加者には、富士山会議クリアファイル、ロゴ入りビニールケースとOS-1パウダーセット、ステッカー、ポストカードを配布しました。





●静岡県富士山世界遺産センター 冬季特別展 「谷文晁×富士山」の開催情報告知協力

12 月 6 日に静岡県富士山世界遺産センターで冬季特別展「谷文晁×富士山 -山を写した時代の寵児-」の内覧会が開催されました。当特別展は2019年12月7日から2020年2月2日まで開催。江戸時代を代表する絵師・谷文晁が描いた富士山の名品の数々が展示されています。富士山会議ホームページニュース欄とフェイスブックページにて、開催情報を告知しPRに協力しました。



●「富士山を詠む」俳句賞への後援

富士宮市・富士宮市教育員会主催の第17回「富士山を詠む」俳句賞に後援。当賞の応募期間は2019年7月1日~9月30日。表彰式は2020年3月実施の予定。



角川「俳句」6月号掲載

6 富士山基金事業と富士山基金への寄付

富士山基金は2006年7月1日に設立。幅広い募金活動を通じて、世界文化遺産富士山の文化的景観を未来に継承するための運動を、地元静岡・山梨はもちろんのこと広く全国にアピール、富士山の保全管理活動を国・地方自治体だけに頼るのではない、新しい官民一体の運動体とすることで、国民の環境や日本の文化に対する意識改革につなげることを目的としています。

2018 年度末富士山基金残高: 14,160,078 円

2019 年度富士山基金募金額: 18,864,869 円(18,863,452 円と利息 1,417 円)

2019 年度富士山基金取崩額: △14,447,290 円(振込手数料と残高証明書発行手数料含む)

2019 年度末累計残高: 18,577,657 円

1.2019 年度富士山基金を利用した PR/啓発活動

1)「富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラム」の推進

2018 年 1 月 15 日(月)に教材のオンライン配布をスタートし、運営・管理と普及活動を継続しています。 金額 3,711,840 円

2)「いつまでも富士山を世界遺産に」啓発ポストカードの作成・配布

登山者、来訪者等への啓発のためのツール「いつまでも富士山を世界遺産に」ポストカードを作成し、本年も 山梨県吉田口登山道の山小屋等各所に配布しました。また、各地でのイベント等の機会に配布、世界遺産富 士山の保全の啓発に努めました。

金額 839,610 円

3)「富士山インタビュー」の推進

さまざまな分野で富士山に関わる活動を続けている方々に登場していただき、富士山との出合い、関わり方と その歴史、富士山への思い等をうかがい、紹介するページを 2015 年からホームページで展開しています。今 年度も新たに 16 人の方々をご紹介しました。

金額 2,030,540 円

4) 富士山書き初めコンテストの実施

2017年から開始した、若年層への世界文化遺産富士山の啓発のための企画です。3回目の今年度も13,000作品を超す応募をいただき、数ある書道コンテストの中でも一定の認知・評価が出てきていることがうかがえます。 金額 7,863,686円

2.2019年度主な富士山基金寄付

【2019 年度 主な寄付者リスト】

寄付者名	金額
奥山晃一	2,829
㈱小栗農園	200
蒲生 由希	2,000
goodbymarket	30,000
(株)ケイミックス	5,360
(株)ケーアイ・フレッシュアクセス	185,955
小西 潤	975
(株)三七七六(裾野もののふの里銘酒会)	37,760
静岡銀行	12,016,690
静岡芙蓉会	36,781
静岡県理容生活衛生同業組合沼津支部	5,000
菅原工芸硝子(株)	34,995
鈴木訓夫	1,000,000
田坂 英樹	6,000
デロイトトーマツ合同会社	1,215,000
㈱中川政七商店	222,208
㈱パブリックデザイン	6,998
富士山裾野自転車倶楽部	10,000
富士山大賞表彰式会場募金	5,223
第 72 回富士登山競走会場募金	2,457
パナック株式会社	100,000
㈱パブリックデザイン	4,269
㈱藤二誠	941,200
(株)ベネフィット・ワン	37,500

㈱美好商会	10,000
(株)ミロク	49,500
安田眞一(大安商事)	49,226
山口 平	1,000
米久(株)	2,776,000
(株)ルーク	14,800
(敬称略)	(単位:円)

※寄付者数: 33

※匿名希望の方は表記しておりません

2019年度 財産目録

2019年12月31日現在

2019年12月31		<u>「動法人」富士山世</u>	
科目	金	額	(単位:円)
Frame Fr	立	<u></u>	4
現金 現金 普通預金みずほ銀行築地支店 普通預金静岡銀行東京支店 未収金	72, 447 15, 159, 509 0		
正会員会費分 前払費用	20,000		
前払家賃 ソリマチ(株) (一社) スターブリッジファクトリー 東京センチュリーリース(株) 流 動 資 産 合 計	447, 841 33, 000 4, 400, 000 3, 600	20, 136, 397	
2 固定資産 (1)有形固定資産 建物付属設備 事務所内設備工事一式 コンセント工事一式 ブラインド工事一式 代器備品 会議室用大デーブル	1 102, 951 1		
スペーク アンコレッダー液晶薄型テレビLAN工事一式デスクトップPCノートPCデスクトップPCレノボパソコン有形固定資産計	1 1 1 1 1 71, 766 281, 098 455, 823		
(2)無形固定資産 無形固定資産計 (3)投資その他の資産計	0		
敷金 富士山基金特定預金(ゆうちょ銀行) 富士山基金特定預金(静岡銀行東京支店普通) 富士山基金特定預金(静岡銀行東京支店定期) 富士山基金特定預金(みずほ銀行虎ノ門支店) 投資その他の資産計 固定資産合計	1, 200, 000 2, 246, 838 4, 458, 343 10, 000, 000 1, 872, 476 19, 777, 657	20, 233, 480	
資 産 合 計			40, 369, 877
II 負債の部 1 流動負債 未払金 派遣職員費 通に言うで 通にでしたがでする。 がでする。 がでする。 がでする。 がでする。 がでする。 がでする。 がでする。 がでする。 でのでする。 でのでする。 がでする。 でのでする。 がでする。 でのでのででのででのでででです。 でのででする。 でのでのでのでででのででのでででででででででででででででででででででででで	324, 820 71, 180 32, 798 11, 000 167, 056	606, 854 0	
負 債 合 計			606, 854
正味財産			39, 763, 023

2019年度 貸借対照表

2019年12月31日現在

特定非営利活動法人 富士山世界遺産国民会議

 科	Ħ	金		(単位:円)
	目	金	名 ————————————————————————————————————	具 ————————————————————————————————————
I 資産の部				
1 流動資産				
現金預金		15, 231, 956		
未収金		20, 000		
前払費用		4, 884, 441		
流動資産合計		4, 004, 441	20, 136, 397	
			20, 100, 001	
2 固定資産				
(1)有形固定資産				
建物付属設備		102, 953		
器具什器		352, 870		
有形固定資産計		455, 823		
(2)無形固定資産		100, 020		
無形固定資產計		0		
(3)投資その他の資産		Ŭ		
敷金		1, 200, 000		
富士山基金特定預金		18, 577, 657		
投資その他の資産計		19, 777, 657		
固定資産合計		10, 111, 001	20, 233, 480	
		l	20, 200, 100	
資 産 合 計				40, 369, 87
Ⅱ 負債の部				
1 流動負債				
未払金		606, 854		
流動負債合計			606, 854	
2 固定負債				
固定負債合計			0	
負 債 合 計				606, 85
Ⅲ 正味財産の部				
前期繰越正味財産			29, 757, 555	
当期正味財産増減額			10, 005, 468	
		[Γ		
正味財産合計				39, 763, 02
			ſ	
負債及び正味財産合計				40, 369, 87

2019年度 活動計算書

2019年1月1日から2019年12月31日まで

	特定非常	営利活動法人富士山世界遺産国民会議 (単位:円)
科	金	
I 経常収益 1 受取会費 2 受取舎費 2 受取舎費 2 受取舎所附金 基金寄附金 物品の他等 3 その他の 業収入 業収入 要取入 要収入 経常収益計	310,000 33,670,000 18,863,452 1,800,000 2,511,000 10,000 1,534	
II 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2, 946, 577 2, 946, 577 2, 946, 577 18, 152, 798 26, 678 4, 243, 740 253, 723 330, 245 184, 843 20, 840 1, 362, 770 207, 036 530, 323 4, 263, 751 151, 032 10, 105, 347 39, 833, 126 736, 645 113, 344 849, 989 6, 264 183, 524 878, 000 143, 259 167, 487 162, 951 1, 065, 938 15, 100 37, 752 110, 886 624, 568 47, 520 67, 577 20, 000	42, 779, 703
その他経費計 管理費計 経常費用計 当期経常増減額	3, 530, 826	4, 380, 815 47, 160, 518 10, 005, 468
Ⅲ 経常外収益 経常外収益計 Ⅳ 経常外費用		0
経常外費用計 当期正味財産増減額 前期繰越正味財産額 次期繰越正味財産額		0 10,005,468 29,757,555 39,763,023

2019年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人 富士山世界遺産国民会議

重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日/2011年11月20日一部改正/NPO法人会計基準協議会)によっている。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
 - 棚卸資産の評価は最終仕入原価法によるが、重要性の乏しいものは評価していない。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - 建物付属設備及び什器備品の減価償却は定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準
 - 引当金計上の必要性がないため、計上していない。
- (4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理 施設の提供等の物的サービスを受けた場合には活動計算書に計上する。

事業別損益の状況

(単位:円)

							(単位: 円)
科目	富士山 世界遺産事業	事業	事業	事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益							
1. 受取会費	310,000				310,000	0	310,000
2. 受取寄附金	54, 333, 452				54, 333, 452	0	54, 333, 452
3. その他収益	2, 522, 534				2, 522, 534	0	2, 522, 534
経常収益計	57, 165, 986				57, 165, 986	0	57, 165, 986
Ⅱ 経常費用	31, 100, 000				0,,100,000	v	0,,100,000
(1) 人件費							
派遣職員費	2, 946, 577				2, 946, 577	736, 645	3, 683, 222
法定福利費	0				0	113, 344	113, 344
人件費計	2, 946, 577				2, 946, 577	849, 989	3, 796, 566
(2) その他経費	, ,				, ,	ŕ	, ,
PR活動費	18, 152, 798				18, 152, 798		18, 152, 798
研究費	26, 678				26,678		26, 678
IT関連費	4, 243, 740				4, 243, 740		4, 243, 740
会議費	253, 723				253, 723	624, 568	878, 291
通信費	330, 245				330, 245	183, 524	513, 769
荷造運賃	184, 843				184, 843	,	184, 843
接待交際費	20, 840				20, 840		20, 840
旅費交通費	1, 362, 770				1, 362, 770		1, 362, 770
消耗品費	207, 036				207, 036	143, 259	350, 295
印刷費	530, 323				530, 323		530, 323
地代家賃	4, 263, 751				4, 263, 751	1, 065, 938	5, 329, 689
リース料	151, 032				151,032	37, 752	188, 784
業務委託費	10, 105, 347				10, 105, 347	878,000	10, 983, 347
福利厚生費	0				0	6, 264	6, 264
備品費	0				0	167, 487	167, 487
新聞図書費	0				0	162, 951	162, 951
租税公課	0				0	15, 100	15, 100
支払手数料	0				0	110, 886	110, 886
保守料	0				0	47, 520	47, 520
雑費	0				0	20,000	20,000
減価償却費	0				0	67, 577	67, 577
その他経費計	39, 833, 126				39, 833, 126	3, 530, 826	43, 363, 952
経常費用計	42, 779, 703	·		·	42, 779, 703	4, 380, 815	47, 160, 518
当期経常増減額	14, 386, 283				14, 386, 283	-4, 380, 815	10, 005, 468

施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

(単位:円)

		(十四:11)
内容	金額	算定方法
該当なし		

4.

使途等が制約された寄附金等の内訳 使途等が制約された寄附金等の内訳(正味財産の増減及び残高の状況)は以下の通りである。 当法人の正味財産は39,763,023円であるが、そのうち18,577,657円は、下記のように使途が特定されている。 したがって使途が制約されていない正味財産は21,185,366円である。

(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
富士山基金	14, 160, 078	18, 864, 869	14, 447, 290	18, 577, 657	
合計	14, 160, 078	18, 864, 869	14, 447, 290	18, 577, 657	

5. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
建物付属設備	2, 030, 364			2, 030, 364	1, 927, 411	102, 953
什器備品	1, 257, 024	287,078		1, 544, 102	1, 191, 232	352, 870
投資その他の資産						
敷金	1, 200, 000			1, 200, 000		1, 200, 000
富士山基金特定預金	14, 046, 470	18, 978, 477	14, 447, 290	18, 577, 657		18, 577, 657
合計	18, 533, 858	19, 265, 555	14, 447, 290	23, 352, 123	3, 118, 643	20, 233, 480

6. 借入金の増減内訳

(単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
該当なし				
合計				

7. 役員及びその近親者との取引の内容 役員及びその近親者との取引は以下の通りである。

(単位:円)

		(+-12 1 1)
科目	計算書類に計上された金額	内役員及び近 親者との取引
(活動計算書) 受取会費	310, 000	50, 000
受取寄附金 PR活動費 新聞図書費	54, 333, 452 18, 152, 798 162, 951	13, 950, 000 7, 881, 673 55, 782
活動計算書計(貸借対照表)	72, 959, 201	21, 937, 455
貸借対照表計	0	0

- 8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項
- 事業費と管理費の按分方法 事業費と管理費に共通する経費のうち、派遣職員費、通信費、地代家賃、リース料は従事割合に基づき按分している。
 - その他の事業に係る資産の状況 該当なし